

「IT革命と便利なくらし」③

前号の続きです。教育は大きく変わりました。学校教育の主力は情操教育と体育となり、知識教育は個別進度別のタブレットアプリを使った自習が中心で、先生はヘルプチュートリアルでも解決出来ない時の相談役です。問題解決型のアクティブラーニングも、知的水準の近い生徒のグループを抽出して行います。生活能力や職業能力を高める為の教育も行われ、座学よりもアクティビティを伴う授業時間が増えています。固定的なクラス編成も無く、授業毎に人数もグループピングも変化しますが、ホームルームクラスが基本となり、情操教育の為にホームルーム時間が多くなります。多様な特質を持つ生徒への対応も充実しています。部活は学校の枠を超えて専門指導者の下で多様な部活が行われています。

職業能力適切分析を参考に、本人の希望を重視しながら、各段階の進路を定めます。4歳から義務教育が始まり、学制も今と違って、適性別職能別に教育コースが分化します。17歳頃から就職が始まります。より専門性の高い人材は25歳くらいまで大学教育が続く事もあります。教育コースと卒業時の職能レベル及び員数は、産業界と教育界で協議のうえ定め

ます。電算、機械、論理に関する教科が強化され、プログラミングやプロジェクトマネジメント教育が必修化されています。

医療も進歩しています。新たな医療機器の開発や知識や技術の向上で、平均寿命も健康寿命もどんどん伸びています。日常の健康管理はセンサー付きのスマートウォッチとスマホの連動で問診や写真等も含めアプリが管理しています。健康データベースに

日々の健康情報が記録蓄積され、人工知能によって、未病警報が本人と医療機関に即座に伝達され、早期検査と治療によって、重症化を防いでいます。通院の必要性が出てくるまではアプリを通じて対症療法を推奨するし、通院は予約制で、病院の待合は閑散としています。結果的に

多くの人は80歳を超えても働いています。平均寿命は100歳を超えました。

さて、三回に渡って近未来社会を考えてみました。寿命が伸びること、理系人材の育成が増えること、今と変わ

ない仕事が多いこと、逆に今は花形の仕事でも無くなってしまうものもあること、働き方が大きく変わること、街の様子も少し変わってくる

こと等、いろいろ予想してみました。かなり恐ろしい予想もいくつも入っています。近未来がこのように予想出来るという根拠が、現在既にしっかりと存在しています。また新しい要素が出て来る可能性も充分あります。未来を予想すれば、今から備えられる事もあります。それに、すぐやって来る未来でもありません。10年〜25年くらい先の話になると思います。今から備えれば十分に時代に対応して行けると思います。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください!お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会 事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

